

8月公演

# 女流義太夫演奏会

## 義太夫の怪談



お話 村尚也

播州皿屋敷

青山鉄山館の段

浄瑠璃 竹本土佐子  
三味線 鶴澤津賀花

東海道四谷怪談

伊右衛門住家の段

浄瑠璃 竹本土佐恵  
三味線 鶴澤駒清



鶴澤駒清



竹本土佐恵



鶴澤津賀花



竹本土佐子

写真●福田知弘

2022年 8月20日(土)

13時30分開演 [13時開場]

### お江戸日本橋亭

東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル 03-3245-1278

●東京メトロ銀座線三越前駅A10出口徒歩2分

●JR総武線新日本橋駅徒歩2分

主催 ● 一般社団法人義太夫協会 / 義太夫節保存会

後援 ● 公益財団法人日本伝統文化振興財団

助成 ●



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

料金◎3,000円 完全予約制 全席自由

\*定員になり次第締め切ります。\*当日券はございません。

会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 2,000円

予約受付:2022年7月19日(火)10時30分より

☎ 03-6265-1880

✉ am-giday@gidayu.or.jp

お一人様2枚まで お電話またはメールにて。

10時30分より前のメールは無効とさせていただきますのでご注意ください。

\*未就学児の入場をご希望の方は当協会までお問合せください

一般社団法人 義太夫協会 03-6265-1880

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル210

●http://www.gidayu.or.jp/ ●E-mail:am-giday@gidayu.or.jp



●お話し  
村尚也（むらなおよ）

日本舞踊家としては、坂東登治（ばんどう ことじ）。舞台演出、振付、評論、執筆活動等を村尚也として活動。「おどりの空間」の主宰を始め、グループの全作品を振付・演出。異なるジャンルでの演出では「オムニバス能・三浦作」「能と文楽による謡かたり隅田川」「吉田文雀の世界」「朗読と舞踊による「古事記」」等。NHK「日本の伝統芸能入門」の解説を三年勤めるなど、さまざまな番組に出演。文化庁・芸術選奨、芸術祭賞ほかの選考委員を歴任。

播州皿屋敷  
青山鉄山館の段

寛保元年（一七四一）七月、大坂豊竹座にて初演。為永太郎兵衛・浅田一鳥らの合作。江戸時代に流布した皿屋敷の怪談に、細川家の御家騒動をからませた時代物。舞台を播州姫路に書き改め、時代も室町幕府八代將軍・足利義政の頃に脚色しています。全編を通じ細川家の重宝である唐絵の皿が重要な役割を担っており、細川家とその宿敵・山名家の対立を背景に皿の争奪戦が展開していきます。聞きどころは皿屋敷伝説ではおなじみの、お菊の幽霊が「一つ二つ…」と皿を数える場面です。

姫路細川家の国家老・青山鉄山は、主家を横領し若殿の巴之助を毒殺しようと企んでいました。その密計を腰元お菊に立ち聞きされたため、鉄山は濡れ衣を着せお菊を抹殺にかかります。十枚揃いの家宝の皿の一枚を懐に隠し、鉄山はお菊に皿を数えるよう命じます。そしてお菊に足りぬ皿の疑いをかけて責め殺し、庭の井戸に投げ込みました。お菊は無念のあまり死霊となって鉄山を悩まします。そこへ駆けつけた夫・三平はお菊の声を聞いて鉄山の企みに気づき、皿を取り戻すと共に鉄山を成敗して亡き妻の敵を取ったのでした。

東海道四谷怪談  
伊右衛門住家の段

天保二年（一八三一）七月、大坂御霊社内で四世竹本氏太夫、二世豊竹巴太夫らによって初演。文政八年（一八二五）に上演された鶴屋南北作の歌舞伎狂言を浄瑠璃用に翻案したもの。作者不明。元禄時代に起きたとされる事件を基に創作された世話狂言。場割は、大和田峠の段、伊右衛門住家の段、師直下屋敷の段、玄辰屋敷の段、向島の段、深川の段となっており、南北の作とは構成に大きな相違があります。その上演は、文久元年（一八六一）五月までに十回の記録があります。が、場割りに変動はあっても、常に出されたのが「伊右衛門住家の段」です。お岩を祀る「於岩稲荷田宮神社」は、新宿区左門町に現存しています。

持病の逆上（のほせ）で苦しんでいたお岩は、水庵からもらった葉を飲んでいました。そこへお岩に横恋慕をしている権平が忍び込んできます。お岩に冷たくあしらわれた権平は、夫・伊右衛門が奥村の娘小梅と深い仲になっており、水庵と謀り、お岩に毒薬を与えているのだと告げます。

外出していた奉公人の小助が、お岩夫婦の息子伊之助とともに帰ってきます。髪が抜け、肌は粟立ち腫れ上り、醜くなったお岩を見て驚愕します。お岩も、そこで自分が騙されていた事に気がつきます。その時、伊右衛門が帰宅しますが、怒りと嫉妬に狂うお岩に、小助との密通したとの罪をなすりつけ、二人を斬ってしまいます。



●お客様にお願い（新型コロナウイルス対策として）●

- 今後の状況により、公演開催直前に開催中止とする可能性もございますことを、予めご了承ください。
- 曲間・幕間に換気を行います。
- 発熱、他の風邪諸症状・体調不良等のある場合はご来場をお控え下さい。
- マスクの着用をお願い致します。
- 入口での検温・手指消毒にご協力下さい。
- プレゼント・差し入れ等はお控え下さい。
- 出演者との面会はお控え下さい。
- 大きなお荷物を持ち込みはご遠慮下さい。
- 上演中の声かけはお控え下さい。
- 氏名・緊急連絡先を必要に応じて保健所等に提供する場合があることをご了承下さい。いただいた個人情報、他のことには使用致しません。
- 会場備え付けのスリッパは使えません。必要な方はご持参下さい。
- ご予約頂いたお客様にはチェックシートをお送りいたしますので、ご記入の上、当日必ずご持参ください。（チケットは発行致しません。チェックシートがチケットの代わりとなります。）入場料は当日受付にてお支払いください。

義太夫協会  
会員募集！

義太夫協会主催公演の入場料が割引になるサポーターシステム（賛助会員）は常時会員募集中です。詳しくは義太夫協会までお問い合わせください。



お江戸日本橋亭 03-3245-1278

次回9月公演

女流義太夫演奏会

2022年9月19日 [月・祝]

お江戸日本橋亭

開演◎13時30分 [開場◎13時]

料金◎3,000円/会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 2,000円

企画・制作●一般社団法人 義太夫協会 デザイン●TRIAD